

平成24年度 次世代育成支援事業報告書

市町村老連名	赤 磐 市 老人クラブ連合会
実施クラブ名	赤磐市立山陽北小学校区 (桜美会、いこい会、むつみ会)

① 地 域 の 概 況	1. 赤磐市の人口、世帯数（25年2月1日現在） ① 人口：44,952人 ② 世帯数：17,392世帯 2. 赤磐市立山陽北小学校 ① 校区の人口：6,493人（赤磐市全体比：14.4%） ② “ 世帯数：2,276世帯（ “ : 13.1%） ③ 生徒数：492人（ “ : 7.6%）
② 活 動 状 況	山陽北小学校に「学校支援ボランティア」を立ち上げ ① 名 称：「かがやきクラブ」 ② 登録人数：79人（うち老人クラブメンバー37人）（2/10現在） 男性：41人、女性：38人 ③ 活動の内容： ・地域の人がボランティアで山陽北小の子どもたちを見守り、授業以外の活動を側面から応援する文科省の政策 ・4つの活動グループ ・活動支援 45人 ・環境整備 30人 ・学 習 43人 ・安全見守 38人 合計 156人（※1人のボランティアが複数のグループに登録） 平成24年度の活動合計人数＝3,383人（3月は見込）、月平均約280人 ④ 防犯、異常者の入校防止： ・会員全員に指定の帽子を提供 ・吊り下げ式ネームプレートを全員に提供 上記を入校の際に必ず着用 →子どもから「いつもありがとうございます」のあいさつがある。

③ 活動の 効果	① 学校にボランティアの人が多く入るようになり、子どもから大きな声であいさつができるようになった。 ② 町で出会っても子どもからあいさつしてくれる。 ③ 校外学習などの見守りや、毎週火曜日（8:10～8:25）の読み聞かせ等を通じ、子どもの方から声をかけてくれるようになった。 ④ 従来からの PTA 行事や授業参観などで、保護者の方からすすんで声をかけてくれるようになり、人とのつながりが増えてきた。 ⑤ コーディネーター会議を毎月第 1 月曜日に開催し、各グループの活動報告、問題点とその改善策、次月の計画など検討。校長、教頭も毎回参加。
④ 課題・ 問題点	① 「出来る人が、出来る時に、出来ることを！」が根本姿勢だが、登録はしているが、一度も参加したことがない会員もあり、25 年度には全員参加型で活動を進めたい。 ② 活動用具の不備 山陽北小学校は、本年度で創立 20 周年を迎えたが、特に環境整備グループ用として、カマ、くわ、板バサミ、スコップ等が学校に用意されていないため、会員が持参して作業をしているのが現状。 →市教育委員会で少しずつ購入し、ボランティアルームで保管。 ③ 山陽北小学校は赤磐市内で最多の生徒数。特に低学年の登下校時には交通事故に遭わないよう、高齢者の方などの見守りが不可欠。
⑤ 今後の 進め方	① 運動会、学習発表会、音楽会などの大きな行事には、出来るだけ多くの地域の人に参加してもらう環境をつくりたい。 →今までは学校に入りたくても敷居が高かった。 ② ここにきて「地域の子どもは地域で見守る」気運が高まってきている。 →最近のいじめ、校内暴力、不登校、学力低下などの報道から、地域では、なんとか自分たちで応援できないか。との機運が高まってきていることは確実 →特に高齢者の朝夕の登下校の見守り、一声運動に校区全員の力をお願いしたい。 ③ 従来から活動中の老人クラブ、PTA と連携を密に取り合い、役割分担をしながら、前に進めていきたい。